



# 「戦前と同じくらい」戦争体験者は知っている

日本共産党  
流山深井後援会

## ニュースあすなろ

2014年1月15日  
第179号  
発行責任者  
菊池 伍郎  
TEL/FAX  
7154-0526  
(部内資料)

### 新成人に市議団が訴え 九条の会・流山もチラシ配布

今年も1月3日(月)、日本共産党流山市議団は、4人全員で市内全域をまわり宣伝をし、新年の活動を開始しました。

流山市の新成人を祝う会が開かれた文化会館前で新成人への訴えをしました。また「九条の会・流山」の方たちも、新成人に



植田市議と市議団文化会館前で

後援会ニュース読者のみなさん 新年おめでとうございませう。暴走と正面から対決し、国民の立場で対案を示し、一致点で共同を広げる——「対決」「対案」「共同」の3つの姿勢をつらぬき、新しい政治、希望ある未来をひらくために、今年も全力をあげてがんばります。来春のいつせい地方選挙での躍進・勝利のためにみなさんのいっそうのお力添えを心からお願いいたします。

日本共産党委員長・衆議院議員 志位 和夫  
党副委員長・参議院議員 小池 晃  
参議院議員 田村 智子

2014年 新春を迎え  
深井 後援会会長 菊池 伍郎  
ふし 後援会会長 小倉 卓郎

みなさん新年おめでとうございませう。昨年とは皆さんのおかげで日本共産党の議席が大きく広がりました。今年も自民党と共産党の対決がますますはつきりしてきました。原発・消費税・秘密保護法・年金の切り下げ・大企業の優遇処理・靖国神社の参拝等々。皆さんの暮らしの不安・生活費の切り詰めなど、先行きに大きな不安を持たざるを得ません。今年こそ一人ひとりが自分の考えていることに自信を持ち(考えるだけでは世の中は動きません)、口に出し、自分の足を一歩でも夢に向かって踏み出し、みんなの力で動かしましょう。皆さんの幸せと平和がたくさん実現するよう、行動する年にしようではありませんか。そして健康第一で...

## 原発から撤退した今原発ゼロ!!

### 「憲法9条」の大切さを訴えるチラシを配りました。

#### 秘密保護法 撤廃署名

##### カード前で 新婦人

1月9日新日本婦人の会流山支部の婦人たちが手作りのゼッケンをつけて「秘密保護法撤廃」の署名活動をしました。買い物途中の方が足を止め「戦争は又々頭張って下さい」などといひながら署名に応じていました。参加した方がマイクを握り、それぞれの思いを語り、12時から1時間で58筆の署名が集まりました。



秘密保護法撤廃へと並んでアピール

### 12月議会共産党提出の3本の意見書採択

12月18日、流山市議会最終日、日本共産党が提案した意見書は4本中3本が採択されました。

- ①ブラック企業への公正な対処を求める意見書 20：6で採択。これは、植田市議が提案者で議場で読み上げました。
- ②難病患者の医療費負担の増額に反対する意見書 14：12で採択。
- ③寡婦控除をすべてのひとり親家庭まで拡大することを求める意見書 15：11で採択。
- ④原発ゼロをただちに

### こんにちは 植田和乎です

1月1日 新年 明けましておめでとうございませう。2014年の幕開けです。流山市議会に送り出して頂いてから、もうすぐ3年が過ぎようとしています。2013年は、日本共産党流山市議団として、市内の小中学校22校を訪問したり、日本共産党全支部と一緒、小中併設校のゲートに取り組みたりと、日本共産党の団結を、とても強く感じる事ができた1年でした。中でも、強く印象に残っていることは、北部地区のみなさんと一緒に、森の倶楽部の施設改善に向けての対市交渉をしたことです。私にとっては、子供連れの関心が薄く、通り過ぎるのにくらべて、高齢の方は「戦争前のように怖い」「子と

初めての事ごとく、ともに経験になりました。執行部側と対立するのではなく、利用者が、利用しやすい施設にするためには、どうすればいいのかが、様々なアイデアが出され、私にとっては、とても充実した貴重な時間でした。いつも、みなさんに支えられ活動できたこと、本当に本当に感謝しています。もう、1年目の頃のような「素人です」とは、言えなくなってしまうのですが、市民感覚は忘れずに、今年も、みなさんに助けを頂きながら頑張ります。今年も、よろしくご願ひ致します

もや孫にあんな思いはさせたくない」「戦争する国にはしたくない」と不安な思いは深刻です。

いまの若者をさとり世代という呼び方があるそうだが、自分ひとりが動いたところで世の中変わるわけじゃない。特別欲を持たず、現状にまあまあ満足。恋愛して異性とトラブルになるのはいやなので近づくかない。結婚して自分を色々我慢するの面倒くさい。先日の九条の会で文化会館での成人式に集まった若者達に九条が危ない、戦争する国になったら行くのは貴方達ですとチラシを配り訴えた。しかし関心は薄い。九条って何? 数年前まで成人式会場の文化会館の駐車場だけでは足りず向かいの小学校のグラウンドも駐車場に充てていた。しかし今は会館前の駐車場も空いている。若者が車を欲しがらなくなった傾向はここにも。大人の視点で批判しても始まらない。そうした人々と響きあう訴えをなければ心も動かないし行動も変わらない。大人の説教でなく、若者が連帯の喜びを感じられるような訴えや行動はなんだろう。孤立を恐れて人とのつながりを求め、スマホ、メールでのやりとりで夢中になり、きずなの幻想を抱くのも若者達だ。その寂しさを癒すだけでなく次の世代に残すべき大切なものがあるのでは。

